

「ひみつきちつくろう！」の一言から始まった遊び。保育室にあった段ボールとガムテープを持ち想像がどんどん膨らみます。



保育者が手伝ったのは屋根になっているところを壁に付けただけ。気付けばほとんどの子ども達が中へ入り遊んでいました。子ども達はお互いに作りたいものやこうしたいという思いを伝えながら楽しんでいました。

日常生活の中で起こる小さなトラブルから思いを伝えたり受け入れたりすることを経験していくことで他者と協力したり分担したりと共に作り上げられるようになっていくのだと感じました。

